

Support

http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html

NO. 5

平成28年7月27日

編集・発行

学校支援課 広報担当

全国学力学習状況調査問題から

4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が、8月18日に各学校に届きます。結果の数値のみに注目することなく、各校の学習状況を分析的に確認願います。また、調査問題からは、子どもたちにつけたい力や授業改革の方向も見えてきます。この機会に調査問題を再確認してみませんか。

国語

国語 B(活用)問題から、授業を考えよう

小学校 国語 B2

国語B2 活動報告文を書く(「早ね早起き朝ごはん」運動)

2 課題
今、朝ごはんがなかったら、生活のリズムを壊すという点で、課題があることが分りました。
問題は、人によって分る分るようには、
課題は、人によって分る分るようには、
課題は、人によって分る分るようには、

3 解決方法
私が取り組む次のような活動を、
私が取り組む次のような活動を、
私が取り組む次のような活動を、

図1 活動報告文の構成

項目	割合
活動の目的	35%
活動の内容	45%
活動の成果	15%
活動の課題	5%

図2 活動報告文の構成

項目	割合
活動の目的	30%
活動の内容	50%
活動の成果	15%
活動の課題	5%

<小学校>

文章全体の構成を考える

報告する相手や目的に応じて、文章全体の構成を決める力が求められています。

授業では、「活動の目的」「活動の内容」「活動の成果」「活動の課題」「活動を振り返って考えたこと」などの記述内容や用いる資料など文章全体の構成を考えるための要件を付箋に書き出し、整理していく活動が考えられます。

中学校 国語 B1

国語B1 情報を読む(漆)

「伝統文化」というと、古いもののように感じられますが、実は今の暮らしの影をなすところにも関わっています。「暮らしの中の伝統文化展」の第1期は、「うるしの漆」を取り上げます。私たちの暮らしの中にある漆のよさを改めて感じてみましょう。

うるしの世界
おみやげや高級な漆器に代表される漆製品は、漆器だけでなく、文房で長く使う文房具の高さも兼ね備えており、私たちの暮らしの中で使われてきたものです。

展示内容(1)展示品
経年コースター
原料としての漆の性質
展示コースター
漆器の製造工程

展示イベント
漆器を使ったメニュー
漆器を使ったメニュー
漆器を使ったメニュー

暮らしの中の
伝統文化展
第1期
うるしの世界
2016年 5月21日(土) - 6月19日(日)

観覧時間：午前9時30分～午後5時
休館日：月曜日
入館料：一般200円、大学生・高校生100円、中学生以下無料

第1期：『うるしの世界』6月24日(土)～7月24日(日)
第2期：『漆器の文化』7月29日(土)～8月28日(日)

草木市立博物館
〒950-9858 草木市原町7
電話 090-123-9000

<中学校>

表現の仕方を考える

書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりする力が求められています。

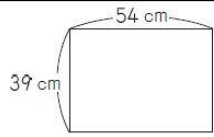
授業では、ちらしやポスター、パンフレットなど身の回りにある具体的な資料を複数比べ読みし、効果的な表現方法について仲間と「対話」しながら考える活動が考えられます。

算数・数学

算数・数学 B(活用)問題から、授業を考えよう

算数 B3 (2)

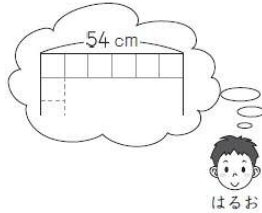
(2) はるおさんは、縦が39 cm、横が54 cmの長方形の厚紙1枚から、1辺が9 cmの正方形を24個かいて切り取ることができていることに気がきました。



はるおさんは、1辺が9 cmの正方形を24個かくことができるわけを、厚紙の縦と横の長さに着目して説明しようとしています。

はるおさんの説明

厚紙の横の長さは54 cmです。
正方形の1辺が9 cmだから、
 $54 \div 9 = 6$
正方形は横に6個かくことができます。



はるお

はるおさんの説明に続くように、1辺が9 cmの正方形を24個かくことができるわけを、言葉や式を使って書きましよう。

数学 B1 (3)

(3) 海斗さんは、先生チームとの試合ではなく、各学級が応援を披露して競う「応援合戦」を入れることを提案しています。海斗さんは、応援合戦を2回、同じ長さで行うことを考え、新たに次の進行表を作りました。

進行表

10分	60分										10分
開式	第一試合 1組対2組	休憩	応援合戦	休憩	第二試合 2組対3組	休憩	応援合戦	休憩	第三試合 1組対3組	閉会式	

進行表から、1試合の時間を a 分、1回の休憩を b 分、1回の応援合戦を c 分とすると、 $3a + 4b + 2c = 60$ という式ができます。これをもとに、二人は話し合っています。

葉月さん「1回の休憩を5分、1回の応援合戦を6分としよう。このとき、1試合10分とはとれるかな。」
海斗さん「 $3a + 4b + 2c = 60$ という式を利用して考えられないかな。」
葉月さん「 $b = 5$ 、 $c = 6$ になるから、 a がわかりそうだね。」

1回の休憩を5分、1回の応援合戦を6分とすると、1試合の時間を10分とすることはできますか。下のア、イの中から正しいものを1つ選び、それが正しいことの理由を、 $3a + 4b + 2c = 60$ の式をもとに説明しなさい。

ア 1試合の時間を10分とすることはできる。

イ 1試合の時間を10分とすることはできない。

数学 B3

(3) 航平さんの家では、自動車の購入を検討しています。購入を検討しているA車(電気自動車)とB車(ガソリン車)にかかる費用について、航平さんの家での自動車の使用状況を踏まえると、次のようになります。

	A車(電気自動車)	B車(ガソリン車)
車両価格	280万円	180万円
1年間あたりの充電代・ガソリン代	4万円(充電代)	16万円(ガソリン代)

(3) A車とB車の総費用が等しくなるおおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それをういてA車とB車の総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの車の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの車の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

答えがでる理由を説明

理由を正確にわかりやすく伝える力が求められています。

授業では、相手を意識させ、分かりやすく伝えたり、聞き取ったりすることや、児童・生徒間で「対話」が生まれるようにすることが考えられます。

友達が説明した続きを説明

普段の授業でも、説明の途中で困った友達が何を伝えたいのか推測して、つなげて説明する活動を取り入れることが考えられます。

言葉や式を使って説明

算数・数学の言語である式を的確に使用して、より分かりやすく伝える力が求められています。

授業では、口頭での説明をもとに、ノートに論理的に書き表す活動が考えられます。

複数の方法で説明

1つの解法にとどまらず、多面的に解を導き出す力が求められています。

授業では、友達の考えと自分の考えを比較して、それぞれのよさを考える活動が考えられます。

大切な視点は、アクティブ・ラーニングです。協働的な学びを普段の授業から、意図的・計画的に、そして継続的に行うことが大切です。



小さな改善の工夫が授業を大きく変え、子どもの学びを変えます。キーワードは、「主体性」「対話」「深まり」!